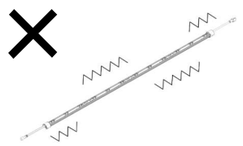
5. その他の注意

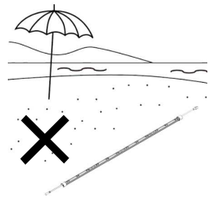
LED灯具は下記のような環境、条件では使用できません。ご注意ください。



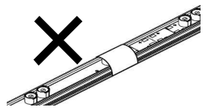
振動の大きい場所
（電源、LEDの破損の恐れがあります。）



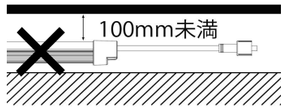
溶剤や引火性ガスなど、発火性可燃物のある場所での照射
（製品の変形や、引火による火災の恐れがあります。）



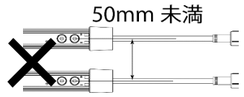
海辺やプールサイドなど、塩害を引き起こす可能性のある場所
（灯具劣化による漏電、火災の恐れがあります。）



LED発光照射部へのテープ貼り付け
（過熱による製品破損、筐体への水浸入による火災の恐れがあります。）



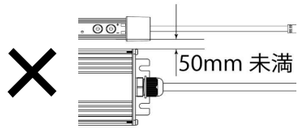
近接照射限度距離（100mm）未満での可燃物への照射
（過熱による製品劣化、火災の恐れがあります。）

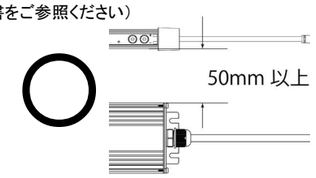


製品間が隣接しており、50mmの製品ピッチ距離が取れない場所
（過熱による製品劣化、火災の恐れがあります。）

【注意】 電源と製品との距離について

※ 駆動用電源をLED製品と共に構造物内に収納する場合は、駆動用電源による光の遮蔽.乱反射などが起こらない様、配置場所には充分ご注意ください。また、熱の影響を 避けるために、LED製品と駆動用電源の間には必ず50mm以上の間隔を空けてください。
（各電源の取り扱いについてはそれぞれの電源取り扱い説明書をご参照ください）





本製品を仕様書に記載された定格値を超えてご使用になった場合や、上記の使用条件を逸してご使用になった場合に起きた、いかなる事故・故障・損害にも弊社はその責を負いません。

6. 点灯しないときは

修理を依頼される前に、もう一度下記項目を確認してみてください。それでも解決しない場合や、ご不明な点はアリストジャパンまでお問い合わせください。

症状	原因
電源に繋がるLED灯具が全て点灯しない	・電源に正しい入力電圧が印加されていません。 → 交流電源から電源に正常に給電されているかご確認下さい。 ・電源が接続できるLED灯具の上限以上のLEDが接続されています。 → 本取扱説明書［２．設置数量］駆動可能本数を確認して下さい。 ・LED灯具の接続が間違っています。極性と向きを合わせて下さい。 → 本取扱説明書［３．製品の接続］を参照下さい。 ・電源の過電流保護機能が動作しています。 → LED結線が短絡している場合、過電流保護機能が動作します。
電源に繋がるLED灯具の一部が点灯するが、残りの部分が点灯しない	・点灯していないLED灯具の極性が合っていないか、正しく接続されていません。 → 本取扱説明書［３．製品の接続］を参照下さい。
LED灯具は点灯するが、輝度不足のとき	・電源が接続できるモジュール数範囲を超えています。 → 本取扱説明書［２．設置数量］駆動可能モジュール数を確認して下さい。 ・過電流保護機能が動作しています。 → 負荷が短絡している場合など、過大な電流が流れ、過電流保護機能が動作します。 ・負荷が大きすぎます。 → 負荷電流が大きくなり、過電流保護機能が動作します。

お問合せ先

東京本社
〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町8-7
サンビル 4F
TEL 03-5652-0388　FAX 03-5652-0386
URL: https://www.aristo-japan.co.jp/

西日本営業所
〒533-0031 大阪府大阪市東淀川区西淡路1-1-36
新大阪ビル 705号室
TEL 06-6195-1938

ARISTO JAPAN Inc. electronics mechanical products R&D and manufacturing

取扱説明書

GT6xx-□□H3シリーズ

グローチューブⅥ

xx=12/09/06
(L=1146/861/576mm)
□□=50/30
(5000K/3000K)



このたびは当社LED製品をお買い上げいただきましてありがとうございます

安全に関するご注意

感電や火傷、漏電・発煙・発火・製品落下などの重大事故や、製品周囲の構造物損傷・製品故障などの損害を防ぐために、本製品の取り扱いや施工・ご使用にあたっては以下の内容を必ずお守りください。

※　いつでも読むことが出来る様に、この説明書は製品をご使用されるお客様にて必ず大切に保管してください。

⚠ 警告

●本製品の施工などの工事には電気工事士の資格が必要です。一般の方による電気工事は法律で禁止されています。また、本製品の施工や使用などに関わり、設置国や地域にその他の法令や規制がある場合は、必ずそのすべてに従ってください。
●本製品は屋外露出可能な器具ですが、製品が水没状態になる場所、海辺などの塩害地域、温泉や屋内プールなど腐食性ガスが発生する場所、石油・化学プラントなど可燃性ガスが発生する場所、粉塵の多い場所、可燃物で製品が覆われる場所では使用出来ません。また、橋や高架上など振動・衝撃が多い場所への設置、移動灯としてのご使用もおやめください。

●製品は仕様書・図面・取扱説明書や本体表示などの注意事項をあらかじめよくご確認・ご理解の上、正しくご施工・ご使用ください。
●製品は許容された温湿度環境範囲内、あるいは筐体温度上限以下でお使いください。また、製品周囲は断熱材などで覆わないでください。
●製品の取付場所の構造には製品の重量や固定力などの荷重に耐える充分な強度を確保してください。
●LED灯具の点灯には必ず、弊社が供給または指定・認定した駆動用電源をご使用ください。
●駆動用電源は必ず、LED灯具の接続数に合った出力範囲のものをご使用ください。
●駆動用電源（一部機種除く）には必ず、電気設備技術基準に準拠したD種接地工事を行ってください。
●LED灯具のコードには極性（+ / −）があります。施工作業時の駆動用電源との接続においては、それらを絶対に間違えないでください。
●LED灯具は連結コードを途中でカットしたり、他の連結と接続したりしてご使用いただけます。その際にも、コード接続の極性は絶対に間違えないでください。
●各部のコード接続は確実に行い、接続箇所には自己融着テープ・防水圧着端子・防水タイプ熱収縮チューブなどで充分な防水・絶縁の処理を行ってください。特に防水処理は、接続部分だけでなくコードの被覆・ジャケット部に至る広範囲に行う必要があります。
●製品各部のコードで製品本体を吊下げたり、コードを強く引っ張ったりしないでください。また、コード被覆に工具や周辺部材などで傷をつけたり、コードを製品と構造物の間に挟み込んだりしないでください。また、張力や鋭角の曲げが生じるコード配線はおやめください。
●駆動用電源とLED灯具間のコードを延長する必要がある場合には、0.75sq（AWG18相当）より太いケーブルをご使用ください。
尚、コード延長が極端に長くなる場合など、コードによる電圧降下に応じてLED灯具の光量が低下する可能性があります。

●落雷による主電源線や構造物への雷サージの発生が懸念される場合には、製品への雷サージ印加の防止・保護の対策を充分に行ってください。
●LED灯具の点灯・消灯を行うためのスイッチやブレーカー類は必ず、駆動用電源の入力（AC）側に設置して下さい。
●LED灯具筐体の周囲には防水用のシリコーン樹脂によるコーキングが施されています。この部分に鋭利な物を突き刺したり、樹脂を引き剥がしたりしないでください。
●目に障害を起こしますので、点灯確認や点検作業の際などに、点灯中のLED灯具の光出射部を直視しないでください。
●製品の真下や直近には、ストーブ・コンロなどの熱源や、加湿器などの蒸気源を置かないでください。
●点灯中及び消灯直後の製品は高温になっていますので、手を触れないでください。また製品のお手入は必ず電源を切った状態で、製品の温度が充分に下がった状態で行ってください。
●本製品にも寿命があり、たとえ外観や点灯状態に異常がなくても内部の劣化は進行している場合があります。設置から8～10年を目安に交換を行ってください。（30℃を超える高温環境での点灯や、日に10時間あるいは年間3,000時間以上の長時間点灯をされた場合には、製品寿命が短くなり、交換時期を早める必要が生じることがあります。）
●製品に万一、動作・点灯状態や外観の異常や煙や異臭の発生などが見られた場合には、ただちに使用を中止して、工事業者または販売元に交換または修理を依頼してください。
●製品の分解や改造などは絶対に行わないでください。万一故障が発生した場合にも、本製品はお客様による修理が出来ません。

⚠ ご注意

●本製品の光源であるLEDは静電気・サージ電流や逆方向電流などに対して特に敏感な電子デバイスです。それらによるダメージを受けた場合は、LEDが急速劣化し短時間で不点灯・点滅・暗灯などの異状を示すことがあります。LED灯具の入力コード導体部分を素手で触ったり、適合外の電源に接続したり、ケーブル方向性・極性の逆接続を行ったりするなど、静電気や過電流・逆電流が印加されない様、お取り扱いの際には充分にご注意ください。また、お取り扱い中にその様な事態が生じた場合は、例え点灯していても内部の故障が生じている可能性がありますので、そのままご使用せずにLED灯具の交換を行ってください。尚、本製品の搭載LEDは人体帯電モデルの静電気耐圧が各2kV以上となる様に保護されております。
●製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布か、薄めた中性洗剤に浸した後で良く絞った柔らかい布で拭き取ってください。製品の清掃に酸性・アルカリ性の洗剤やシンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使ったり、製品をたわしやクレンザーなどで磨いたりしないでください。また、製品には殺虫剤類をかけ ないでください。

お願い

●この製品の駆動用電源にはソフトスタート機能が内蔵されているものもございます。電源を入れてから点灯するまでに若干（数秒）のタイムラグを生じる場合がありますが、それは異常ではありませんのでご了承ください。
●LEDを光源とした照明器具はその発光波長成分特性などから、白熱灯や蛍光灯などの従来光源と比べて、同型式の製品おいても個々の明るさや色調のバラツキを大きく感じる場合があります。この点については予めご了承ください。

AJM-GT17-03

アリストジャパン株式会社

■ 取付方法

■ **事前に必ず、「安全に関するご注意」をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。**
■ **静電気による製品の故障を避けるために、作業場所・作業者や工具類の静電対策を行ってください。**

1. 設置数量

LED製品の使用数に応じて電源を用意します。下表をご参照ください。

電圧降下による輝度低下、輝度ムラを防ぐため、電源ーLED灯具先頭まで下記表のケーブル最大延長距離をご参照の上、配線1系統に繋げる製品本数は合計製品長4.8mを超えて接続しないようにしてください。1系統の長さ制限をお守りいただければ、長さの異なる製品を混在させて使用することも可能です。



付属のコネクタをご使用にならない場合や、ケーブル・コードを延長する場合、防水処理を完全にするため、頁3 “【注意】ケーブル・コードの結線について”をお読みになり、施工してください。

二次側コードを延長する場合、VCTF-0.75sq / AWG18 より太いケーブルを使用してください。
（一次側のケーブル・コードについては電源の取扱説明書をご参照ください）

ケーブルの最大延長距離（1系統接続時）

VCTF等の撚線ケーブル				VVF等の単芯ケーブル		
Sq				mm		
1.25	2	3.5	5.5	1.6	2	2.6
10m	15m	25m	40m	15m	25m	40m

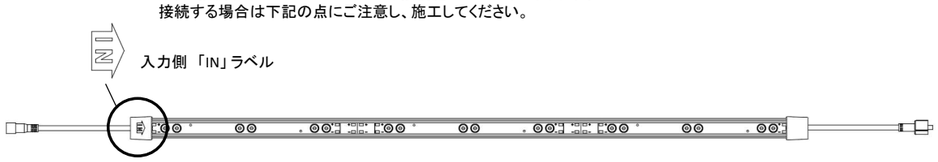
接続可能本数（※）

メーカー　モデル	型番	有効電力	駆動可能本数		
			L600 (16.8W)	L900 (25.2W)	L1200 (33.6W)
共進電機 150W (防滴・看板内収納形)	WKLVZ240-6R3HJ	135W	1 ~ 8 pcs	1 ~ 5pcs	1 ~ 4 pcs
レシップ 60W (防滴・看板内収納形)	K58-060C024-204	54W	1 ~ 3 pcs	1 ~ 2 pcs	1 pc

（※）　上記駆動可能本数は一例です。
各電源の有効電力の範囲内、かつ1系統の長さ4.8m以内であればどの長さの製品も自由に組み合わせ連結が可能です。

2. 製品の接続

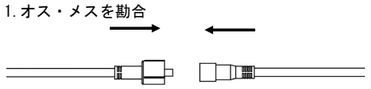
製品はコネクタ形状に関わらずどちらの方向からも入力・出力が可能ですが、入出力のラベルに従い、製品を配置・接続することで、コネクタによる接続施工がしやすくなります。
接続する場合は下記の点にご注意し、施工してください。



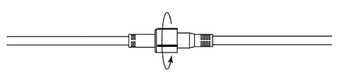
コネクタを使用する場合

コネクタにはオス・メスがあります。接続前にオスとメスの組み合わせになるよう確認してください。
接続時は防水効果を確実にするため、コネクタを差し込んだ後、固定用キャップにて確実に締めつけてください。

1. オス・メスを勘合



2. ネジを締め、固定する



端子結線が必要な場合

● **電源と製品を接続する際は、リードケーブルを介してください。**
品番：BWC-0000-0539F

入力　＋24V （茶）
電源側 **灯具側**
入力　Gnd （青）

● **製品を連結する場合、終端のコネクタには防水キャップを取り付けてください。**

品番：BCN-0000-0071

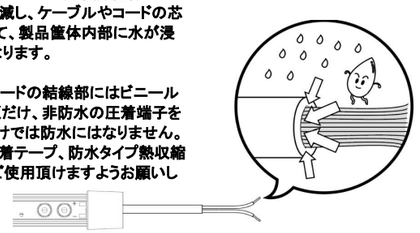
手順
1. 終端のコネクタに防水キャップを勘合　　2. ネジを締め、固定する



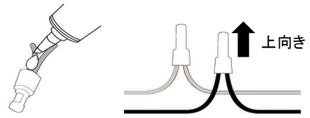
3. ケーブル・コードの結線について

製品の点灯・不点灯時、製品筐体内の空気圧が増減し、ケーブルやコードの芯線部を伝って、製品筐体内部に水が浸入しやすくなります。

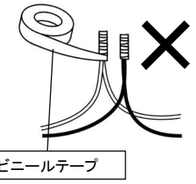
ケーブル・コードの結線部にはビニールテープを巻くだけ、非防水の圧着端子を加締めるだけでは防水にはなりません。必ず自己融着テープ、防水タイプ熱収縮チューブをご使用頂けますようお願いし



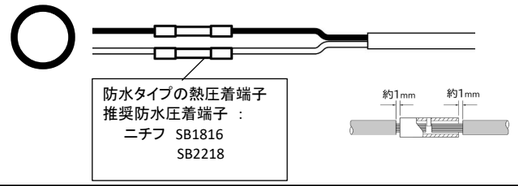
・閉端接続子を屋外で使用する場合、結線部位からの浸水が多く報告されております。
結線部位には十分な量のシリコーン樹脂を結線部位に塗布するとともに、端子の頭を上に向けるなど、防水のための十分なご配慮をお願い致します。



・結合部に一般のビニールテープを巻くだけでは防水できません。自己融着テープか防水熱収縮チューブなどにより防水処理を施してください。



・圧着時には電線の被覆をカシメないよう、複数電線の芯線部だけをカシメます。端子から1mm程度芯線部が露出するようにしてください。



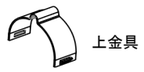
4. 取付具への設置方法

■ **事前に必ず、「安全に関するご注意」をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。**
■ **静電気による製品の故障を避けるために、作業場所・作業者や工具類の静電対策を行ってください。**

● 取付金具への設置方法と角度調整方法

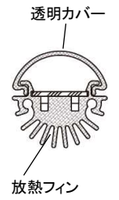
金具は上下2パーツで構成されており、2組同梱されております。

金具の構成



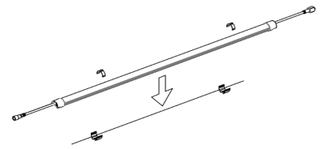


灯具断面図



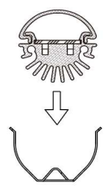
① 下金具の固定





注）
2組の取付具で、灯具の位置、傾きが決定されます。 2組の下金具はお互いの取付具中心軸の位置、向き、高さ、直線度を合わせてから木ネジ等で固定してください。

②



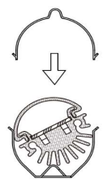
下金具を固定した後、灯具を上向き（放熱フィンを下）にし、下金具に静置します。

③



金具に対し、灯具を自由に傾けることで照射の向きを調整できます。
15° 単位での調整が可能です。

④



角度を調整した後、上金具を下金具にはめ合わせることで灯具が固定できます。

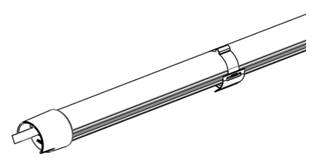
⑤



装着例

●金具装着完成図





装着外観